

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiku/index.html>

第 4 報
千葉県農林水産部
平成 26 年 7 月 2 日

生育早く、早生品種は出穂期間近！

ほ場をよく見回り、水管理と病害虫防除を適切に！

[生育概況]

全体的に生育の進みは早く、幼穂形成期は早生・中生品種は4日程度、また、晩生品種は4～7日程度早くなりました。幼穂形成期の草丈は並～やや高く、茎数はやや多めです。

幼穂形成期以降、梅雨らしい天候が続いていますが、障害型冷害を引き起こすような低温はなく、順調に生育しています。

表 1 品種別の幼穂形成期

| 品種 | 植付時期 | 幼穂形成期（月日） | | | |
|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|
| | | 県北 | 九十九里 | 内湾 | 県南 |
| ふさおとめ | 4月20日 | 6月16日 | 6月14日 | 6月14日 | 6月15日 |
| ふさこがね | 4月20日 | 6月17日 | 6月16日 | 6月15日 | 6月17日 |
| コシヒカリ | 4月20日 | 6月22日 | 6月21日 | 6月20日 | 6月20日 |
| | 5月1日 | 6月26日 | 6月25日 | 6月24日 | 6月24日 |
| ふさのもち | 4月20日 | - | - | 6月20日 | - |
| | 5月10日 | 7月1日 | 6月30日 | 7月1日 | - |

※各地域内で最も早い確定値を記載

※「ふさのもち」は農林総合研究センター（香取市・山武市・千葉市）の実測値を記載

表 2 品種別の出穂期予測と冷害危険期の予測

| 品種 | 植付時期 | 出穂期予測（月日） | | | | 冷害危険期予測（月日） |
|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------------|
| | | 県北 | 九十九里 | 内湾 | 県南 | |
| ふさおとめ | 4月20日 | 7月11日 | 7月9日 | 7月9日 | 7月10日 | ～6月30日頃 |
| ふさこがね | 4月20日 | 7月12日 | 7月11日 | 7月10日 | 7月12日 | ～7月5日頃 |
| コシヒカリ | 4月20日 | 7月17日 | 7月16日 | 7月15日 | 7月15日 | 7月2日頃～ |
| | 5月1日 | 7月21日 | 7月20日 | 7月19日 | 7月19日 | 7月6日頃～ |
| ふさのもち | 4月20日 | - | - | 7月15日 | - | 6月30日頃～ |
| | 5月10日 | 7月26日 | 7月25日 | 7月26日 | - | 7月10日頃～ |

※出穂期とは、全茎数の40～50%が出穂した日

※各地域内で最も早い幼穂形成期に、幼穂形成期から出穂期の標準的な日数25日を加えて出穂期を予測

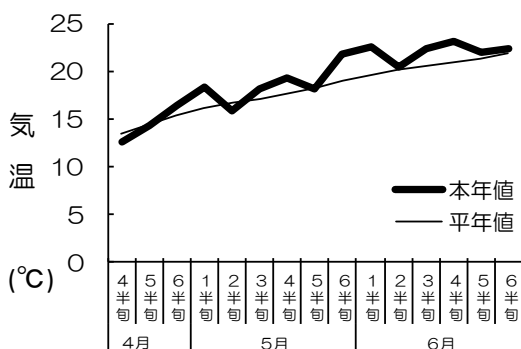


図 1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

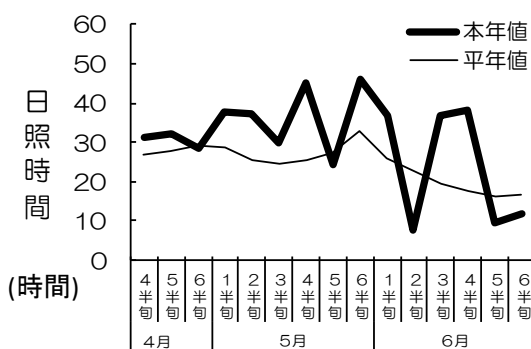


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

[これからの管理のポイント]

■ 「コシヒカリ」の穂肥

「コシヒカリ」の幼穂形成期は4～7日程度早く、出穂期も同様に早いと予測されています。圃場ごとに幼穂長を確認し、穂肥を施用しましょう。穂肥施用適期は出穂前18～10日(幼穂長が1cm～8cm)で、壤質土における標準的な施用量は10a当たり窒素分量で3kgです。

穂肥の施用時期が早いと、倒伏や籾数過剰による登熟不良や玄米外観品質低下を招きます。さらに、今後、曇雨天が続いた場合、登熟不良につながりやすいので、幼穂形成期に茎数が多かったり、葉色が濃かったりする場合は穂肥の減量や施用時期を遅らせます。コシヒカリの穂肥施用・倒伏軽減剤の要否判定基準は第3報を参照してください。

表 3 「コシヒカリ」の幼穂形成期の生育目標

| 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 葉色 (カラスケール値) |
|---------|------------------------|--------------|
| 70 以下 | 430～560 (23～30 本/株) | 3.5～4.0 |

■ 水管理 ～全量基肥（一発肥料）栽培の場合も水管理は大切です～

各品種とも平年と比べて出穂期が早い見込みです。生育に応じて適切な水管理を行いましょう。

○ 中干し後から出穂後までの水管理

基本的な水管理は①～③のとおりです。特に「②」は自然由来のカドミウムの吸収を抑えるために必要な技術です。「安全・安心」な米作りのために注意して管理しましょう。

- ① 十分に中干しができたら、出穂3週間前までは間断かんがい
- ② 出穂3週間前から出穂2週間後までは湛水管理
(幼穂を確認したら、入水を開始する。)
- ③ 出穂2週間後から出穂25日後までは間断かんがい

○ 低温時には湛水

幼穂形成期以降に平均気温 20℃以下の低温の持続が予想されるときは、冷害防止のために深水で湛水(保温)しましょう。

また、低温が予想される場合でも、穂肥の窒素と加里は施用しましょう。

表 4 低温時湛水深の目安

| | |
|-----------------------------|-------------|
| 幼穂形成期から冷害危険期まで(出穂 25～16 日前) | 湛水深 10cm 程度 |
| 冷害危険期(出穂 15～10 日前) | 湛水深 20cm 程度 |

■ 病害の防除

6月21日に気象庁から発表された関東甲信地方1か月予報によると、平年に比べて降水量が多く、日照時間が少ない確率が高くなっています。今後も曇雨天が続くと、以下の病害が発生しやすくなりますので、ほ場をよく見回り、早期に防除しましょう。

○ いもち病

いもち病は、平均気温 20～25℃で曇雨天が続いて茎や葉の湿っている時間が長いときに感染しやすい条件です。葉いもち予防の粒剤は、発生する前に散布する必要があります。葉に病斑が多数見られるほ場では、予防効果と治療効果を兼ね備えた薬剤を直ちに散布しましょう。治療効果のある薬剤は、発生後の早い段階の防除で高い効果が期待できます。

○ 紋枯病

紋枯病は、茎数が多いと発生しやすくなります。紋枯病による葉鞘の枯れ上がりは倒伏を助長します。

○ 稲こうじ病

稲こうじ病は、穂ばらみ期が低温の場合や降雨が多い時に発生が多くなります。出穂前が防除時期です。前年に多発したほ場では、下表を参照して薬剤防除しましょう。

表 5 いもち病、紋枯病、稲こうじ病の主な防除薬剤

| 薬剤名 | 病害名 | いもち病 | 紋枯病 | 稲こうじ病 |
|-------------------|-----|--------|--------|-------|
| オリゼメート粒剤 | | ○予防 | | |
| キタジンP 粒剤 | | ○予防 | | |
| コラトップ 粒剤 5/ジャンボ | | ○予防 | | |
| ブイゲット粒剤 | | ○予防 | | |
| フジワン粒剤 | | ○予防 | | |
| ルーチン粒剤 | | ○予防 | | |
| ラブサイド粉剤 DL | | ○予防 | | |
| イモチエース粒剤 | | ○予防・治療 | | |
| ダブルカットフロアブル | | ○予防・治療 | | |
| ノンプラス 粉剤 DL/フロアブル | | ○予防・治療 | | |
| ブラシン 粉剤 DL/フロアブル | | ○予防・治療 | | ○ |
| カスミン 粉剤 DL/液剤 | | ○治療 | | |
| モンガリット粒剤 | | | ○予防 | ○ |
| ラテラ粉剤 DL | | | | ○ |
| 撒粉ボルドー粉剤 DL | | | | ○ |
| Z ボルドー粉剤 DL | | | | ○ |
| バシタック水和剤 75 | | | ○予防・治療 | |
| バリダシン 粉剤 DL/液剤 5 | | | ○治療 | |
| モンカット粒剤/フロアブル | | | ○予防・治療 | |
| モンカットファイン粉剤 20DL | | | ○予防・治療 | |
| モンセレン 粉剤 DL/フロアブル | | | ○予防・治療 | |

※農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍率、収穫前日数、総使用回数などが定められています。ラベルをよく読んで、適正に使用しましょう。

■ 斑点米カメムシ類の防除

○ 畦畔の草刈りは出穂 2 週間前まで

出穂期前後の草刈りは、カメムシ類をほ場の中に追い込んでしまいます。畦畔雑草は出穂 2 週間前頃までに刈り取りましょう。

○ 大型の斑点米カメムシ類の防除適期は穂揃期と出穂 15 日後頃

斑点米カメムシ類は、水田周辺に生息していた成虫が水稻の出穂後に水田に侵入して産卵します。斑点米の被害は、成虫よりも幼虫による被害が大きく、乳熟期から糊熟期の吸汁によって被害が発生します。

防除適期は、成虫飛来期である穂揃期と幼虫発生初期である出穂 15 日後頃です。

出穂が、周辺よりも早いものや遅いものは、集中的な被害を受けることがあるので、注意が必要です。

○ カスミカメムシ類は発見しにくいので注意

アカスジカスミカメ等のカスミカメムシ類は、小さく発見しにくい害虫です。天候と生育の関係で登熟中の籾殻が開く（籾割れ・ふ割れ）と、開いた所から吸汁し被害を与えます。早期発見のため、ほ場をよく見回り、穂揃期頃水田に飛来した成虫を防除しましょう。

表 6 斑点米カメムシ類の防除薬剤

| 系統 | 薬剤名 |
|-----------|---|
| 有機リン系 | エルサン粉剤 3DL、スミチオン乳剤、スミチオン粉剤 3DL |
| 合成ピリロト系 | MR.ジョーカーEW、MR.ジョーカー粉剤 DL、トレボン粉剤 DL、トレボンMC |
| ネオニコチノイド系 | ベストガード粉剤 DL、スタークル（アルバリン）顆粒水溶剤、スタークル（アルバリン）粉剤 DL、ダントツ水溶剤、ダントツ粉剤 DL |
| 有機リネン系 | エルサンバッサ粉剤 20DL |
| その他 | キラップフロアブル、キラップ粉剤 DL |

※農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍率、収穫前日数、総使用回数などが定められています。ラベルをよく読んで、適正に使用しましょう。

■ 農薬の飛散防止

農薬の散布に当たっては、周辺への飛散を防止するため次に示す事項に注意しましょう。

- 風の弱いときに風向きに注意して散布する
- 近接する住宅や作物の生産者等と連携する
- 散布の方向や位置に注意する
- 緩衝地帯を設ける
- ドリフト低減ノズルなど適切なノズルを用い、適正な圧力で散布する
- 遮蔽物を設ける
- 適正な散布量を守る
- 飛散しにくい農薬や剤型を選ぶ
- タンクやホースの洗浄を徹底する

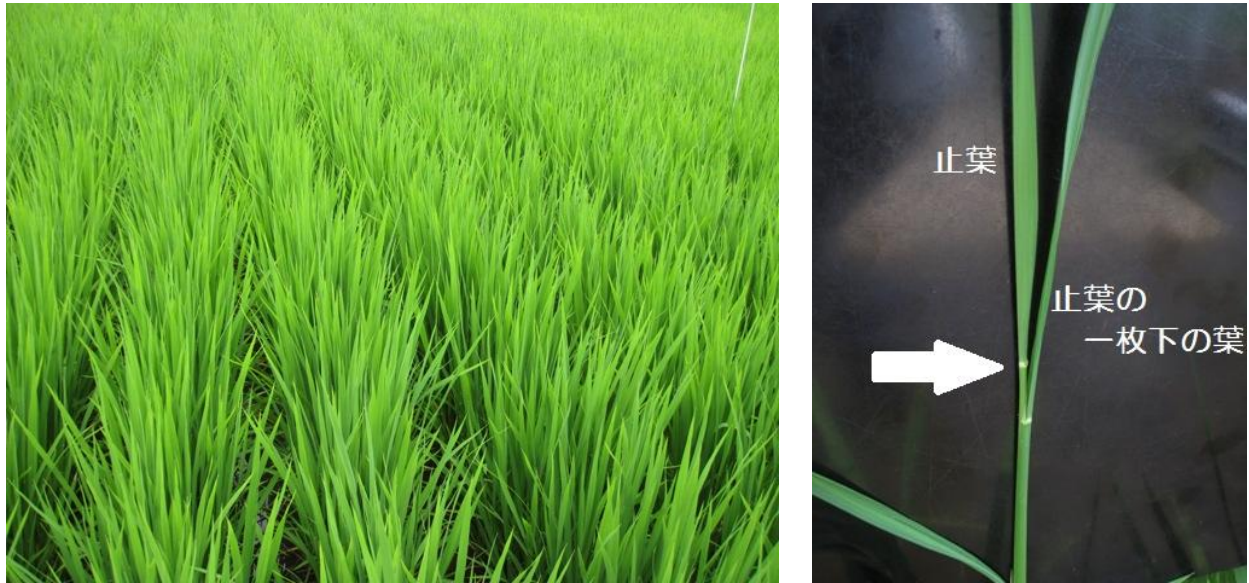


図4 ふさおとめ（4月21日植え）7月1日の様子

千葉県農林総合研究センター（千葉市緑区刈田子町）

写真左 止葉が抽出中で、出穂期は7月10日頃の見込み。

写真右 止葉の付け根（矢印の位置）があらわれると、あと10日程度で
出穂期（全莖数のうち40～50%が出穂した時）となる。

適正な施肥で健全な稲の栽培に取り組みましょう

～加里を補い、放射性セシウムの吸収抑制を図りましょう～

窒素、リン酸、加里は稲の生育に重要な肥料成分です。

しかし、近年、加里の土壌中分量が不足している例が見受けられます。加里を補い、健全な稲の育成に努めましょう。

中間追肥や穂肥での加里施用は、米の放射性セシウム吸収抑制対策にも効果的です。

詳細は第1報を参照してください。